

PRIMERGY TX200 ご使用の際の留意事項について

このたびは、弊社の PRIMERGY TX200 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本サーバをご使用になる上で以下の留意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

平成 16 年 6 月
富士通株式会社

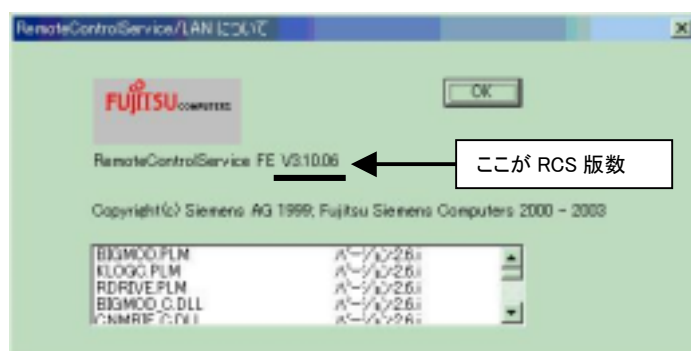
1. RemoteControlService ご使用時の留意事項

PRIMERGY TX200 において、遠隔からの電源制御を行うための方法として、管理端末に RemoteControlService(以下、RCS)をインストールして電源制御を行う方法があります。

管理端末より RCS で TX200 にリモート接続する場合は、TX200 の BIOS セットアップユーティリティで正しく接続設定を行う必要があります。設定が正しくない場合はリモート接続することができませんので、以下の手順にしたがって設定を行ってください。

BIOS 設定方法の詳細については、本サーバに添付の『PRIMERGYドキュメント&ツール CD』内の『PRIMERGY TX200 ユーザーズガイド』9 章「9.2 BIOS セットアップユーティリティ」を参照ください。また RCS の詳細については、同 CD-ROM 内の『ServerView ユーザーズガイド』を参照ください。

1. 管理端末の RCS の版数を確認します。
管理端末で RCS を起動して、メニューから[ヘルプ]-[RemoteControlService/LAN について]を選択します。
以下の画面が表示されますので、下線部のところで RCS の版数を確認します。



2. TX200 の BIOS セットアップユーティリティを起動します。[Advanced]メニューから[[IPMI]-[LAN Settings]サブメニューを選択します。
3. 手順 1. で確認した RCS の版数に応じて、[Chassis Control Access]の設定項目を下表にしたがって設定します。

RCS 版数	[Chassis Control Access]の設定値
V3.09.00	Unrestricted
V3.10.05	Standard
V3.10.06 以降	Standard
V3.08.**以前	TX200 でサポートしていない版数です。

4. RCS の版数が V3.10.06 以降の場合は、管理端末の RCS で接続タイプの設定を「**TX200 (BMC Fw 2.x)**」にしてください。
RCS の設定方法の詳細については、『ServerView ユーザーズガイド』および RCS に関するヒント(Fujitsu RemoteControlService hints)を参照してください。

2. UPS 用 RS-232C 拡張ボードご使用時の留意事項

UPS 用 RS-232C 拡張ボード※ (型名: GP5-UPC01)を PRIMERGY TX200 に接続する場合は、必ずシリアルポート 2 に接続してください。シリアルポート 1 に接続した場合は、スケジュール運転等によりサーバの電源を切断するときに、OS シャットダウン後サーバが再起動する場合があります。

※ 1 台の UPS(高性能無停電電源装置)を複数のサーバに接続するための拡張ボード

3. IPMI ネットワーク設定を行う際の留意事項

PRIMERGY TX200において、Server Management Tools または BIOS セットアップユーティリティを使用して、以下に示す IPMI ネットワーク設定を変更したとき、正しく設定が反映されない場合があります。その場合は、設定を保存して Server Management Tools または BIOS セットアップユーティリティを終了したあと、一度サーバ本体の電源を切断して AC ケーブルを抜き、再度 AC ケーブル接続・電源投入を行ってください。設定が正しく反映されます。

Server Management Tools の IPMI ネットワーク設定:

[Channel Configuration]-[#2 802.3 LAN]サブメニュー内

- BMC NIC IP Address
- SubnetMask IP Address
- Default Gateway IP Address
- MAC Address

BIOS セットアップユーティリティの IPMI ネットワーク設定:

[Advanced]-[[IPMI]-[LAN Settings]サブメニュー内

- Local IP Address
- Subnet mask
- Gateway address

4. 添付ドキュメントの訂正事項について

本サーバに添付の『PRIMERGY ドキュメント&ツール CD』内の『PRIMERGY TX200 環境設定シート』『PRIMERGY TX200 ユーザーズガイド』に訂正事項がございましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

PRIMERGY TX200 環境設定シート

「A コンフィグレーションシート」の p. 7 [IPMI]-[LAN Settings]サブメニュー内において、以下を追記致します。

(追記) Chassis Control Access
Standard Unrestricted

PRIMERGY TX200 ユーザーズガイド

9 章「9.2.3 Advanced メニュー」において、以下を訂正・追記致します。

PCI SLOTS Configuration サブメニュー (p. 349)

(訂正前)

注意事項:

リモートサービスボード (PG-RSB101) を搭載する場合は、「PCI slot 5 Configuration Option ROM Scan」の設定を「Disabled」にしてください。

(訂正後)

注意事項:

リモートサービスボード (PG-RSB101) または RS-232C カード (GP5-162) を PCI スロット 5 に搭載する場合は、「PCI slot 5 Configuration Option ROM Scan」の設定を「Disabled」にしてください。

LAN Settings サブメニュー (p. 356～357)

(追記) 以下の設定項目を追記致します。

項目	設定値	内容
Chassis Control Access	<input checked="" type="radio"/> Standard <input type="radio"/> Unrestricted	RemoteControlService で管理端末と接続する際の接続方式を設定します。詳細については前述の「RemoteControlService ご使用時の留意事項」を参照ください。

付録 A 「A.1 本体仕様」(p. 424 ~ 427)において、以下を追記致します。

タイプ		Windows Server 2003 アレイタイプ	Windows 2000 Server アレイタイプ	Linux アレイタイプ		
型名		PGT20114S2	PGT20114K2	PGT20114L4	PGT20117L4	PGT20116L4
CPU	周波数／ キャッシュ	インテル® Xeon™ プロセッサ 2.4BGHz / 2 次キャッシュ:512KB インテル® Xeon™ プロセッサ 3.06GHz / 2 次キャッシュ:512KB インテル® Xeon™ プロセッサ 3.2GHz / 3 次キャッシュ:1MB				
	マルチ数	1(最大 2)				
メモリ	標準	512MB(256MB DIMM × 2 枚)				
	増設単位	512MB / 1GB / 2GB				
	最大容量	6GB(6 スロット 1GB DIMM × 6 枚)				
ビデオ RAM 容量		8MB				
グラフィックス		VGA チップ:ATI RAGE XL 640×480、800×600、1024×768、1280×1024 表示色:解像度、OS などによって異なる				
5 インチ ストレージベイ		3 ベイ(標準搭載含む) 種類:CD-ROM、DAT72、DDS4、DDS4 オートローダ、光磁気ディスク、VXA2、SLR100、DLT、LTO				
	標準搭載	48 倍速 CD-ROM ユニット(ATAPI)				
3.5 インチ ストレージベイ		6 ベイ(内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構使用時 9 ベイ) (標準搭載ハードディスクユニットを含む)				
	標準	146.8GB × 3 (10,000rpm)			73.4GB × 3 (10,000rpm)	36.4GB × 3 (10,000rpm)
	増設単位	36.4GB / 73.4GB / 146.8GB (Ultra320 SCSI)				
	内蔵最大	146.8GB × 6=880.8GB (内蔵ハードディスクユニットベイ変換機構使用時 146.8GB × 9=1321.2GB)				
ディスクアレイ		標準				
PCI スロット ^(※1)		PCI-X スロット(64bit / 133MHz) × 3、PCI-X スロット(64bit / 100MHz) × 1、PCI スロット(64bit / 33MHz) × 1				
フロッピー ディスクドライブ		3.5 インチ(2 モード 1.44MB / 720KB)標準搭載				
インタフェース		LAN(10/100/1000BASE-TX) × 1(ベースボード標準搭載)、 シリアル × 2、パラレル × 1(オプション)、キーボード、マウス、モニタ、USB × 3				
キーボード／マウス		標準添付(カスタムメイドでラックマウント変換機構を使用時:オプション)				
外形寸法(単位:mm)		174(286 突起部含む) × 739 × 474 (ラックマウント変換機構を使用時:483 × 734 × 177) (4U)				
質量		最大 38kg(ラックマウント変換機構を使用時:40kg)				
内蔵時計精度		誤差 2～3 分／月				
消費電力		最大 540W／最大 1944kJ/h				
電源		AC100V(50/60Hz)／二極接地型				
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台(冗長化変換機構使用時)				
ファン		2 個(最大 4 個)				
エネルギー 消費効率 ^(※2)		インテル® Xeon™ プロセッサ 2.4BGHz:J 区分、0.024 インテル® Xeon™ プロセッサ 3.06GHz:J 区分、0.021 インテル® Xeon™ プロセッサ 3.2GHz:J 区分、0.018				
サポート OS		Windows Server 2003, Standard Edition/Windows Server 2003, Enterprise Edition/ Windows 2000 Server/Windows 2000 Advanced Server/ Windows NT Server 4.0/Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0/SBS 2000/ Red Hat Linux 9/Red Hat Linux 8.0/Red Hat Enterprise Linux AS (v. 3)/Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)/ Red Hat Enterprise Linux AS (v. 2.1)/Red Hat Enterprise Linux ES (v. 2.1)/Turbolinux 8 Server				

*1) 動作周波数は、搭載される拡張カードの枚数および仕様により異なります。

*2) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

以上